

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶちスマイルファクトリー		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後デイサービスとの合同イベントが開催されていること	普段は同年代の児童同士での活動が中心ですが、合同イベントを通して小学生から高校生までの児童と交流することで、社会性や思いやりの心を育む機会を意識的に設けています。また、交流の際には安全面や関わり方の工夫を行い、一人ひとりが安心して参加できるよう配慮しています。	年齢差を活かした交流を今後もしていきたいと思います。
2	送迎対応の柔軟さがあること	ご家族の予定に合わせて送迎時間を調整することで安心してご利用いただける環境を整えています。	今後も送迎に関するご要望や状況を事前に把握できる仕組みを整え、児童と保護者双方にとって快適なサービスを提供したいと思います。
3	職員同士が何でも言い合える環境であること	こどもたちの小さな変化もすぐに共有し、話しあうことで取り組み内容を明確にしています。	その場にはいない担当職員にも分かるよう情報共有の方法を工夫していきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全管理、緊急時対応マニュアルの周知が十分されていないこと	現状マニュアル自体は整備されているが、利用者に対し行き届いていない。	面談時や保護者への説明の場などでマニュアルの内容を丁寧に伝えるなど、周知に向けた取り組みを検討していきます。
2	保護者への伝達が不十分なこと	連絡帳で日々の様子を伝えているが、伝わりきらない部分がある	送迎時間に余裕を持たせて丁寧に伝える。面談の機会を増やす。LINEでのやり取りも活用し、質問しやすい環境づくりに努める。などの対応を検討していきます。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぶちスマイルファクトリー

公表日 2026年3月18日

利用児童数 19

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	5	1		利用児童が多いと狭くないのかと感じる	活動スペースにつきまして、ご心配をおかけし申し訳ございません。法令基準は満たしておりますが、人数により狭く感じられる場合もあるため、体を動かす活動時は近隣の公園も活用しております。今後も安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2	1	1		職員配置につきまして、ご不安な思いをさせてしまい申し訳ございません。当施設では法令で定められた基準を満たした人員配置を行っておりますが、状況に応じて十分でないと感じられる場面もあったかと存じます。今後もお子様一人ひとりにしっかりと目が行き届くよう努めてまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3		1	・事後報告で何度か疑問に思うことがあった ・子供についてLINEや電話にて問い合わせをいただくことがあるので、理解して頂いていると思う	お子様への理解や支援につきまして、事後報告によりご不安や疑問を感じさせてしまったこと、申し訳ございません。一方で、日頃よりLINEやお電話でご相談をいただいていることから、ご理解いただいているとお声も頂戴しております。今後はより分かりやすく丁寧なご報告を心がけ、お子様一人ひとりに応じた支援に努めてまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			2			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	3					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	5		1			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1		2	見る機会が少なく分からない		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16		1	2	色々なプログラムをして下さっているの で、よく工夫されていると思います	現状は、個別支援計画に基づき、お子さま一人ひとりに合わせた活動を考え、対応しています。今後も、多様なニーズに応えられるよう、活動内容の工夫や改善に努めてまいります。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	6	2	5		現在は、保育園や幼稚園に通われているお子さまが多いため、交流の機会は設けていませんが、外出活動などを通して地域の子どもたちとの交流の機会は持っています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1						
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	2						

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	5	1	8	現在、家族支援プログラムや研修会は実施しておりませんが、個別のご相談や質問には随時対応し、必要な情報提供や助言を行っています。今後も、ご家族のニーズに応じた支援の充実に向けて検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	3			最近はない。忙しそうで話せない ご意見ありがとうございます。最近、保護者の皆さまとのやり取りが十分でない点を課題と受け止めています。今後は、短時間での状況共有や面談の活用など工夫し、こどもの健康や発達について共通理解を深められるよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	4			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	1	10	・今年はまだない。兄弟の交流もなし。 ・私も障害があり余りイベントなどに参加したことがないので分からない ご意見ありがとうございます。保護者会は昨年6月に開催し、保護者同士の交流の機会を設けることができました。きょうだい向けの交流については設けられていないため、どのようなことができるか検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	1	1	・もう少し相談しやすい環境がほしい。 ・専門的なアドバイスがほしい。保育所の伝達をぶちの先生方でも共有して送迎時に違う先生でも分かるようにしてほしい。(昼寝時間や機嫌等) ・保護者の体調不良により保育所を休んだ時、急なにも関わらず、対応してくださり助かっている。 ご意見ありがとうございます。先生同士での情報共有についてのご要望を受け、改善に取り組んでまいります。また相談や申入れについて、可能な限り対応できるよう、引き続き努めていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	3			
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	1		当事業所では、毎週木曜日にInstagramで活動内容を発信しており、連絡帳でお客様の様子を報告しております。また、ホームページやGoogleでも写真を掲載しております。今後もわかりやすく、こまめな情報提供に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	1	2	SNS(Instagram)に動画の投稿をする際、顔が隠れていないことがあるので少し気になる ・Instagramにて活動を見るのが楽しみ 個人情報の取扱いにつきまして、ご心配をおかけし申し訳ございません。SNSへの投稿時は顔が特定されないよう配慮しておりますが、モザイクが分かりづらい場合があった可能性がございます。今後はより一層確認を徹底し、安心してご覧いただけるよう努めてまいります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	3	1	4	各種マニュアルにつきましては施設内に掲示しており、震災等を想定した訓練も定期的に行っております。また、職員研修やテストを通して、緊急時に適切な対応ができるよう努めております。今後は保護者の皆様への周知・説明をより丁寧に行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		4	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	1	2	安全計画につきまして、ご不安を感じさせてしまい申し訳ございません。当事業所では、感染症対策や怪我の防止など、安全確保の取り組みを行った上で支援を行っております。今後もお客様が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1	2	・事後報告。熱などあっても帰りに聞くことが多い。  この度は、事後報告のように感じさせてしまい、大変申し訳ございません。当施設では、登所時に検温を行い、発熱が続く場合は速やかにご連絡しております。今回につきましては、一時的な発熱でその後解熱したため、お迎え時のご説明となった可能性がございます。いずれにしても、ご不安な思いをさせてしまい申し訳ございません。今後はより丁寧なご連絡に努めてまいります。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	1		1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1			保育所へ行き渋る日も「ぶちに行きたい」と子どもが意欲的でとても嬉しく思っています。いつもありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2			

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 ぷちスマイルファクトリー

公表日 2026年3月18日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動人数や活動内容のたびに環境整備（机や設備の配置替え）を行っています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に応じて、職員数を増やしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要箇所に手すりをつけ、認識しやすい色の踏み台を設置しています。ドアに手が挟まないようにドアクローザーやフィンガーアラートを設置しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動終了後に室内清掃及び消毒を行い、空調設備や加湿器なども使用し、過ごしやすい空間づくりをしています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室としても使用できる空間を用意しています	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを行い、全員が意見やアイデアを出しやすいように職員ミーティングをしています	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児童の支援前、支援後にも職員ミーティングを行っています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事務所内研修だけではなく、外部研修にも積極的に参加しています	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の内容が分かるように支援記録にも記載しています。また職員間で共有し、毎日の活動プログラムにも反映しています	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		施設内には標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントはありません。しかし外部機関等で検査をされている方に対しては保護者の了承を得て、結果を参考にさせて頂いています。保護者面談や関連機関による情報、日々の支援内容の記録、連絡帳により常に情報を確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日に来る児童の特性に合わせ対応プログラムを構成し、ねらいなどを職員同士で話あい支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用日、利用児童ごとに支援記録をし、検証や改善につなげています	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		毎日のようにミーティングをしているため、全員が理解している状況です	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者了承の元、お子様の活動の様子を見て頂く場合もあります	幼稚園や保育所の時間は支援をしている時間のため、なかなか時間を取って見に行くことができない。今後は時間をみて見に行けるようにしたいと検討しています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		系列の事業所へは共有しています。関係基幹等に関しては情報の開示のご要望があった場合についてはその限りではありません	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				相談支援事業所意見交換会などに参加し、地域の情報収集、意見交換を行っています

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		当施設は運動場がないため、近隣の地域資源（公園や運動施設）を利用することが多く、そこで他の子どもと一緒に活動することがあります	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご利用時の活動の様子は連絡帳及び送迎時に直接お伝えしています。定期的に保護者面談やアンケートを行っています	連絡帳やLINEだけでは保護者に伝わらない部分もあるので、もう少しお話できる機会が増えるよう検討したい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングができるよう研修は受けています。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用負担などあれば通知を行い、分からない場合はLINEやTELなどでも説明をさせて頂いています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			Instagramにて毎週活動内容等をアップしています。HPでも毎月掲示しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			伝達ツールを用いて、意思疎通や情報伝達を行っています
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルは作成されていますが、保護者の方に見せたりしていなかったため周知ができていない可能性があります。今後は契約時などに説明をしていこうと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			年度初めに必ず確認シートを記入いただき、把握しています。都度変更があれば、連絡帳にて報告頂いています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在指示書が必要なほどのアレルギーを持つ児童がおりません

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		今回のアンケートで周知されていないことが把握できたので、今後保護者へ説明をしていきたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを元に、研修を実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		グループ全体で研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			